

* JOB NO. *

公立文化施設

22 舞台芸術の制作

職場ではこんな人も働いています

- 舞台技術スタッフ(機構・音響・照明)
- 広報
- 票券(チケット)管理
- 貸館
- 会計
- 総務
- 受付
- 設備
- 清掃
- 警備

この仕事のキーワード

- 舞台
- 演劇
- イベント
- コンサート
- 市民参加
- 地域密着

こんな人に向いています

- 芸術やエンタメが好き
- 社会や地域に興味がある
- 大勢の人と成し遂げることに楽しさを感じる
- 自分の考えを持ち、他人の意見も尊重できる



様々な舞台芸術の魅力を発信 地域の人たちに愛される劇場に

舞台芸術作品やワークショップなど当館オリジナル公演の企画立案、制作、進行を行うのが主な仕事です。スケジュールや予算の設定・管理、出演者やスタッフなどのキャスティング、稽古や舞台づくりの準備、プロモーションなどを行います。地域の人たちに愛される劇場として、どんなカラーを打ち出せるのかを念頭に企画を考えています。

入社9年目
草野さん

私がこの仕事に就いたきっかけ

アート全般が好きで、芸術と社会をつなげる仕事に興味を持ち芸術大学へ進学しました。演劇や音楽など舞台芸術を発信する場であり、地域の文化拠点として様々なコミュニケーションを生み出す中核となっている公共劇場に面白さを感じました。

舞台芸術の制作の仕事内容

企画立案

劇作家や演出家に相談して作品を選定、企画書を作り、プレゼンを経て、予算措置を行います。並行して上演権交渉や、会場押さえを進めます。



作品企画・座組(出演者等の構成)

キャストやスタッフの選定を行い、オーディションや進行の打ち合わせを実施。広報宣伝計画をたて、チラシやポスターを作成。販売席を確定します。



稽古

全体のスケジュール管理や出演者らの交通宿泊手配のほか、顔合わせ、本読み、台本チェック、立ち稽古、場当たり、道具の発注、取材などに対応します。



仕込み(公演準備)・本番

舞台装置や照明などの仕込み、舞台稽古、本番と同じように行うリハーサル(ゲネプロ)などを実施。舞台当日はフロントスタッフ業務、本番、アフタートーク、撤収まで対応します。



必要な資格・スキル

●特にありませんが、文化芸術分野の現場経験が重要視されます。

まつもと市民芸術館

松本市深志3-10-1 TEL/0263-33-3800
開館/2004年8月 従業員数/38名



まつもと市民・芸術館
Matsumoto Performing Arts Centre



会社見学
OK

職場体験
OK

出張授業
OK

まつもと市民芸術館ではこんな仕事をしています

自主事業

幅広い年齢層に向けて、演劇、伝統芸能、音楽、ダンスなど様々なジャンルのバラエティに富んだ公演制作とともに、様々なワークショップを開催しています。



2023年7月上演 野外劇『テンベスト』

芸術監督団

「ひらいていく劇場」を目指し、演劇・舞踊各部門の専門芸術監督と地域の魅力も発信するゼネラルアートアドバイザー、計3人の芸術監督団が新時代の芸術館をリードします。



左より 倉田翠 [ダンス]・木ノ下裕一 [団長・演劇]・石丸幹二 [ゼネラルアートアドバイザー]

舞台技術

舞台機構、照明、音響など当館技術専門スタッフが技術を提供します。時代や内容で演出は変わりますが、常にお客様が喜んでくれる舞台づくりを目指しています。



広報誌・スケジュールガイドの発行

広報誌は昨年リニューアルしました。アートディレクターや絵本作家に加わってもらい、子供や子育て中の皆さんにも手に取ってもらえるように工夫。館と街の最新的话题を届けています。



中信地域の高校演劇をサポート

毎年秋、県大会につながる「高校演劇中信地区大会」を開催して高校演劇をサポートしています。この一環で、春には高校生を対象に当館で様々な講習会を実施。「技術講習会」では、舞台技術専門スタッフが、実際の劇場設備と機器を使いながら機構、照明、音響の使い方を指導しました。若者に劇場を身近に感じてもらえる機会になっています。

